

数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル） 取組概要

建学の理念

情報化社会の新しい大学と
学問の創造

本プログラムの目的

本プログラムは、数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、本学での学びを通じ知識・技術を深めることで今後の情報化社会で貢献できる人材を育てることを目的とする。本プログラム対象科目である「情報の世界」は1年次前期の履修科目とした。

ディプロマ・ポリシー

卒業認定・学位授与の方針

授業概要

デジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活や仕事等の場で使いこなすことができる基本的要素を身に付けること、および数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能を扱う際に、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意思でAIの恩恵を享受し、これを説明・活用できることを目指します。講義においては、知識やスキルを理解するための実習などを用意し、学生が主体的に学べるようにします。

特色

- ① 本講義ではオムニバス方式を採用しており、5名の教員が経験に基づき複数業界の事例を具体的に解説します
- ② 画像・音楽・動画などの社会データ・MRIやCTなどの医療画像データ・音声やウェアラブルセンサーなどのパーソナルデータ等、多くの実データに触れることができる

体制・計画・点検・評価

担当教員
教務課
(事務局)

授業関連
履修関連

教養教育
委員会
(点検・評価・改善)

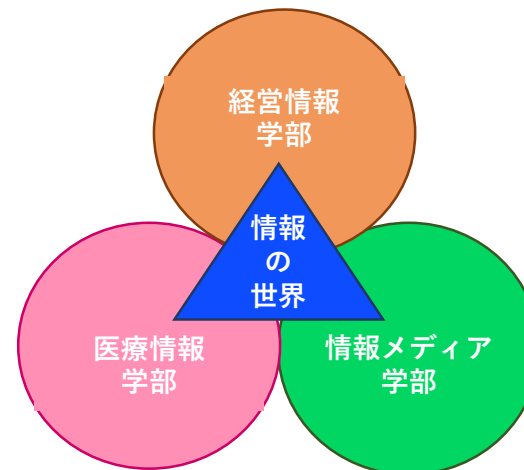
授業評価
アンケート

FD
委員会

履修周知/授業・履修フォロー

各学部（経営情報／医療情報／情報メディア）

全学科での取組み



授業風景



学校法人 電子開発学園

北海道情報大学
Hokkaido Information University